お客様の印刷機械が故障・事故なく安定稼働できるために

印刷機械のワンポイントメンテナンス

第30回　タック付きフイルムの定期的交換を！

版胴シリンダーの損傷が起こってからでは遅過ぎます！！

版胴シリンダーにタック付きフィルムを貼ってある機械は、フイルムの定期的な交換が必要です。

Ⅰ．タック付きフィルムの貼り方

1．準備するもの（写真1参照）

1）タック付きフィルム

購入先例：KOMORIサービスで部品として扱っています。

寸法：リスロン40の場合 1，030 X 745・リスロン44の場合 1，130 X 850です。

厚み：カットダウン量と仕立て寸法により異なりますので、取扱説明書をご覧ください。

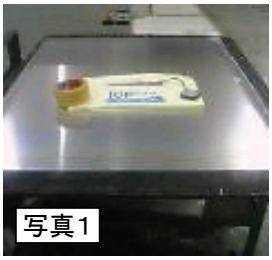
写真1

2）刷版

・タック付きフィルム貼り付け補助に使用します。折れ曲りのない良いものならヤレ版でも可能です。

・セミAPC仕様，フルAPC仕様の場合は、咥え側はパンチングし、尻側はベンディングしてください。（ベンディング不要機は必要ありません。）

・セミAPC仕様，フルAPC仕様でない場合は、咥え側のパンチングのみしてください。

3）両面テープ（タック付きフィルム貼り付け補助に使用します。）

2．貼り付け前の準備作業

1）版胴有効面のゴミと汚れを洗い油で清掃してください。

2）刷版の咥え側から28mmの位置に油性ペンで一線を引きます。（写真2参照）

3）刷版に引いた線にあわせて両面テープ（25mm角程度）を両端と中央の3箇所に取り付けます。

4）タック付きフィルムを、剥離紙を上にして28mmの線に合わせて仮止めします。（写真3参照）

5）タック付きフィルムの剥離紙を咥え側からゆっくり剥がします。（写真4参照）

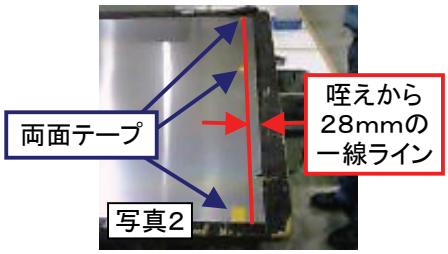

写真2

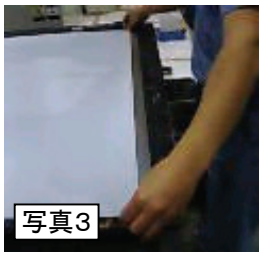
写真3

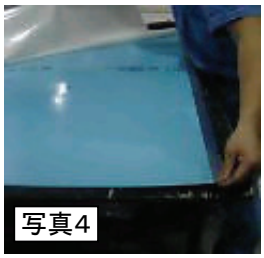
写真4

3．版胴へのタック付きフィルム貼り付け

1）フルAPC使用の場合は、PQCでセミAPCを選択します。

2）仮止めしたタック付きフィルムの刷版を咥え側基準ピンに合わせて差込み、版万力に咥えさせます。

注意：尻側の中央付近で、版とフィルムを一緒に手で持っていてください。（写真5参照）

3）給版動作でタック付きフイルムと刷版を胴に巻きつけます。なお、APCではない機械は尻側は咥えません。

4）排版動作に切り替え、その時にタック付きフィルムから咥え側両面テープを剥がします。

5）咥え部の貼り付け具合を確認します。必要なら手直しをします。

6）再度給版し、胴入れ状態にし、緩動で1～2回転させ充分に密着させます。

7）排版し、刷版のみ取り外します。

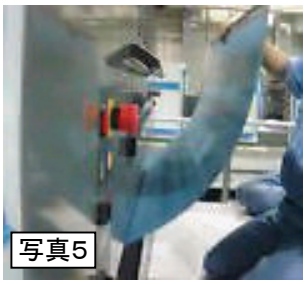
写真5

4．貼り付け状態の最終確認

注意

タック付きフィルムに、凸凹・シワ・エア玉がないか確認します。

あった場合は失敗です。失敗した場合は最初からやり直しです。

タック付きフィルムの再使用はできません。

交換サイクルは4ヶ月です。

Ⅱ．タック付きフイルムの剥がし方

1．刷版を取り外します。

2．版万力の咥え側が、正面になる位置で機械を停止させます。

3．タック付きフィルムの咥え側を両手で引っ張り、第4着けローラ近くまで剥がします。

4．版胴に接触させないように寸動で機械を廻し停止させ、両手で引っ張りながら剥がします。これを繰り返します。

5．シリンダーの有効面に、ゴミ・汚れ・水分がないか点検し、あった場合はきれいに除去してください。

※　詳細または不明な点がございましたら、下記まで問い合せ願います。

株式会社小森コーポレーション

テクノサービスセンター		東日本サービス		西日本サービス	
東京：本社	03-3624-7166	北海道	011-641-1505	大　阪	06-6939-0141
部品販売	03-3624-7154	東　北	022-282-8871	九　州	092-433-7615
埼　玉	048-480-7166	北　陸	076-422-5588	中　国	082-295-9100
相　模	046-278-2355～8	名古屋	052-363-5011	四　国	087-864-3902